

第 31 回統計委員会における意見等に対する回答

問 1 高速道路の無料化に向けた社会実験が行われようとしている状況下において、自動車輸送統計調査の調査対象から自家用旅客自動車を削除して問題ないか。

(回答)

1. 自動車輸送統計調査は、自動車による物・人の輸送の動向を把握するための統計調査であり、全国・地域ブロック単位で自動車が運ぶ貨物等の総量をすう勢的、定量的に把握することを通じ、安全かつ効率的な輸送を推進するための政策等を策定するための基礎資料としての役割を果たしている。

これに対し、高速道路の無料化に向けた社会実験では、高速道路や一般国道の交通量、渋滞等の変化に着目して、その計測や地域経済への効果、他の交通機関への影響等について調査・分析を実施することとしており、調査目的や視点、調査対象の範囲等が異なるものである。

2. したがって、今回の自動車輸送統計調査の見直しが社会実験の実施に影響を及ぼすものではないと考えている。なお、本調査では、総量の指標の一つとしてトンキロ及び人キロを算出するため、OD の調査を行っているが、限られたサンプル数から 2 点間の数値を把握するには限界があり、個別のルート等について、鉄道や航空等との間でのシフト等を分析するための調査とはなっていない。

3. なお、道路管理会社等では、高速道路ごとの「通行台数と料金収入（年度計・日平均）」、「車種別（特大型・大型・中型・普通車・軽自動車）通行台数（年度計・日平均）」、「月別通行台数（日平均）及び「高速道路区間別交通量・インターチェンジ別出入交通量（月次）」等の数値を公表している。

問2 自動車輸送統計調査と道路交通センサスの関係及び役割分担はどのようになっているか。

(回答)

1. 自動車輸送統計調査は、自動車による物・人の輸送の動向を把握するための統計調査として毎月実施し、全国・地域ブロック単位で自動車が運ぶ貨物等の総量をすう勢的、定量的に把握することを通じ、安全かつ効率的な輸送を推進するための政策等を策定するための基礎資料としての役割を果たしている。
2. 一方、道路交通センサスは、5年程度の間隔で全国道路交通の現況（道路状況や交通量、自動車の動き等）を把握し、道路の整備計画・建設・管理のための基礎資料とすることを目的としており、自動車輸送統計調査等からは、道路整備計画の策定に当たっての将来交通需要を予測するために、走行距離及び車両台数が用いられている。（両調査の比較については別添1参照）
3. なお、今回の調査計画の変更後も自動車燃料消費量調査等によって全車種において走行距離及び車両台数の把握は可能であり、道路整備計画の策定に係るデータは確保されている。

問3 今回の調査計画の変更により調査対象から削除される自家用乗用自動車等については、行政記録情報等を活用することにより代替データを整備してもらいたい。

(回答)

自動車輸送統計調査における過去の自家用乗用自動車の数値を検証したところ、年次数値においては、ここ10年の人員・人キロに係わる原単位（1km当たり平均輸送人員及び1日1車当たり輸送人員）の増減は小さく、人員・人キロ総量の増減に対する影響は、車両数及び走行距離の増減に大きく依存する結果となっている。

このため、現時点においては、過去データを十分に検証し、行政記録情報から得られる車両数、自動車燃料消費量調査から得られる走行距離を使用して人員・人キロを推計し、年度ベースで自動車輸送統計調査の結果と併せて参考として公表していきたいと考えている（別添2参照）。

自動車輸送統計及び道路交通センサスについて

	自動車輸送統計 (現行調査)	全国道路・街路交通情勢調査 (道路交通センサス)
調査目的	自動車輸送統計は、自動車による物・人の輸送の動向を把握するための調査であり、自動車で運ぶ貨物量等の総量をすう勢的、定量的に把握し、 <u>安全かつ効率的な輸送を推進するための政策等を策定する基礎資料としての役割</u>	道路交通センサスは、全国の道路状況、交通量、旅行速度、自動車の利用状況を捉え、 <u>将来の道路整備の方向を明らかにするための基礎資料としての役割</u>
統計法上	基幹統計	一般統計調査(※)
調査周期	毎月	4年～6年に1回
客体数	調査票数：約20万／年間 営業用バス事業者：約4000事業者	調査票数：約275万／1回
調査期間	貨物自動車：7日、旅客自動車：3日	原則として秋季(9月～11月)の平日及び休日の任意の各1日
調査内容	<p>○全国の車両から車両サンプルを抽出し、貨物自動車においては積んだ貨物の量、品目等、旅客自動車においては乗せた人員数等を調査</p> <p>○営業用(貸切・乗合等)バスについては、月の輸送量(人員数、走行距離等)を調査</p>	<p>○交通量調査：各地点で通過する車の台数を数える</p> <p>○旅行速度調査：朝または夕方に、実際に自動車で走行して、道路の平均速度を求める</p> <p>○オーナーインタビューOD調査：車の所有者や使用者に対し、車の利用状況についてアンケートを実施</p> <p>○路側OD調査：一部の県境で自動車を道路脇に止めていただき利用状況を聞き取り方式で調査</p> <p>※統計法上の統計調査に該当するのはオーナーインタビューOD調査及び路側OD調査</p>

調査対象の範囲変更に伴う項目一覧

	自家用軽貨物自動車		自家用乗合自動車		自家用乗用自動車		備考
	月次	年次	月次	年次	月次	年次	
保有台数	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
走行キロ	○'	○	○'	○	○'	○	自動車燃料消費量調査において代替。 なお、上記調査は年間精度のみを担保
燃料消費量	○'	○	○'	○	○'	○	//
輸送人員	※	○"	※	○"	※	○"	過去分の平均値を基に算出(3車種全て)
輸送人キロ	※	○"	※	○"	※	○"	//

◎…継続して自動車輸送統計調査の結果報告書に掲載予定の項目

○…他統計から代替可能な項目

○'…速報として月次で集計し、年次で集計後、再度、月分配することにより確報として代替可能な項目

○"…過去データからの推計等により代替可能な項目

※…月次で集計し、年次で集計後、再度、月分配することにより代替可能ではあるが、国土交通省としては、公表する予定のない項目

なお、能力人キロ及び実車キロについては、他統計の情報等から代替可能ではあるが、国土交通省としては公表する予定のない項目である。

(自家用軽貨物自動車の実車キロについては、代替可能な情報はないことから、公表は困難である。)